

できました!

# 西宮市の教育大綱

子供たちは、未来の主役です。

西宮市は、未来を拓く子供たちが、たくましさ、優しさ、豊かな感性を身につけ、健やかに成長するための施策の礎として、教育大綱をまとめました。  
家庭で、学校で、地域で、大人たちが子供に接する際の、ヒントにさせていただけると幸いです。

子供への期待

大人への期待



西宮市観光キャラクター みやたん

## 西宮市教育大綱



みにゃっちょ

子供たちは、未来の主役です。彼らは、現代の社会が実現できなかった夢をこれから実現し、新しい価値を創造する存在として、敬意と寛容さをもって育まれるべきです。

大人は、子供に対して深い愛情をもって接するべきです。但し、ただ弱い未完成な存在ととらえて、守り慈しむだけではいけません。子供の育ちへの大人の過干渉や過保護は、子供の自立した人間性の育成を阻んでしまいます。大人がすべきことは、子供たちが、たくましさ、優しさ、豊かな感性を身に付けることのできる環境を整えることです。

西宮市は、子供に期待することと、その実現のために大人に期待することをここに示し、広く市民と共有するとともに、これを今後の子供を中心とした西宮市の教育・子供施策の礎とします。

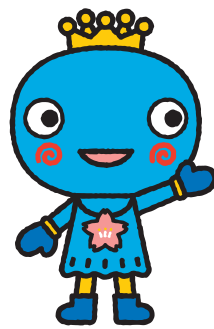
### 西宮の子供たちへ

- 1 自分に自信を持ち、新しいことや自分の目標に挑戦する勇気を持ちましょう。
- 2 ものごとを鵜呑みにせず、自分で判断し、自分の言葉で自分の考えを表現しましょう。
- 3 失敗しても、落ち着いて、そこからどうすればいいか考えましょう。
- 4 自分とは違った価値観も尊重し、他に対して思いやりを持ちましょう。
- 5 規則正しい健康的な生活を心がけ、社会のルールを守りましょう。
- 6 西宮や日本の自然や伝統文化に親しみ、ふるさとへの誇りを持ちましょう。

### 西宮の大人たちへ

- 1 子供の興味や意欲に気づき、それを深めたり挑戦したりすることを応援し、見守りましょう。
- 2 自分の期待や特定の考え方を押しつせず、子供の話にじっくり耳を傾けましょう。
- 3 挑戦による失敗を責めず、そこでなされる子供の判断を尊重し、共に考える姿勢を持ちましょう。
- 4 子供が多くの人や体験と出会う機会をつくり、他の価値観も存在することを伝えましょう。
- 5 子供の健康的な成長に気を配った家庭環境をつくり、子供の模範となる態度を心がけましょう。
- 6 地域や日本の四季や伝統文化を感じられる機会をつくりましょう。
- 7 子供たちに対して、愛情と敬意と寛容さを持ちましょう。

平成 28 年 11 月



# 教育大綱 7つの想い



## 1 挑戦する勇氣

西宮の子供たちへ 自分に自信を持ち、新しいことや自分の目標に挑戦する勇氣を持ちましょう。

西宮の大人たちへ 子供の興味や意欲に気付き、それを深めたり挑戦したりすることを応援し、見守りましょう。

子供は、現実離れた夢を抱いたり、大人が思いもよらないものに関心を持ったりすることがあります。

しかし、それは、子供の個性を育み、自信と勇氣を持って未来を拓く原動力にもなります。

子供と会話する機会を積極的に持ち、子供の夢や関心に目を向けましょう。また、子供の興味・関心を尊重し、それを深めたり挑戦したりすることを応援しましょう。



## 2 自分で考える力

西宮の子供たちへ ものごとを鵜呑みにせず、自分で判断し、自分の言葉で自分の考えを表現しましょう。

西宮の大人たちへ 自分の期待や特定の考え方を押しつけず、子供の話にじっくり耳を傾けましょう。

大人は子供が失敗しないようにと、手を差し出したくなるものです。しかし、子供が自分で判断する前に答えを与えたり、子供の判断を誤りと決めつけたりしていると、自分で考え、自分の考えを伝える力が育ちません。知識や考え方は、自分で試行錯誤することで確かなものになります。

大人の期待や考え方を押しつけるのではなく、子供の意志を尊重し、自分で考えずに簡単に答えを求めてきたときには、自分で考えるように促しましょう。



## 3 立ち上がるたくましさ

西宮の子供たちへ 失敗しても、落ち着いて、そこからどうすればいいか考えましょう。

西宮の大人たちへ 挑戦による失敗を責めず、そこでなされる子供の判断を尊重し、共に考える姿勢を持ちましょう。

子供の失敗には、どうしても不安や苛立ちを感じてしまいがちです。しかし、先回りして子供から挑戦する機会を奪ってしまうと、失敗への耐性が身につかなかったり、後悔させたりもします。また、失敗を責めると、子供は失敗を恐れて挑戦しなくなることもあります。

失敗して、次の挑戦につなげるにせよ、あきらめるにせよ、子供たちは前に進んでいきます。大人は動じずに、彼らが失敗を受け止めるのを待ちましょう。



## 4 他への思いやり

西宮の子供たちへ 自分とは違った価値観も尊重し、他に対して思いやりを持ちましょう。

西宮の大人たちへ 子供が多くの人や体験と出会う機会をつくり、他の価値観も存在することを伝えましょう。

限られた人間関係や考え方の中だけで生活することは、自分の可能性を狭めてしまいます。

価値観の違う人と関わり合うには、主張するだけでなく、相手の立場に立ったり折り合いをつけたりすることも必要です。

子供の要求を安易に受け容れるのではなく、思いどおりにならない場合があることを伝えましょう。このように、多様な人たちとふれあう体験を通じて、様々な価値観が存在することを気付かせ、他者への共感や思いやりを育みましょう。



## 5 健康的な生活

西宮の子供たちへ 規則正しい健康的な生活を心がけ、社会のルールを守りましょう。

西宮の大人たちへ 子供の健康的な成長に気を配った家庭環境をつくり、子供の模範となる態度を心がけましょう。

挨拶、早寝早起き、バランスのとれた食事、良い姿勢は、子供の健全な成長には欠かせないものです。子供が規則正しい健康的な生活を送れるよう心がけましょう。

また、情報の氾濫や価値観の多様化により、何が正しいのか判断しにくい世の中になってきています。身近な大人が子供たちの模範として、地域や家庭生活の中で社会のルールを伝えられるように心がけましょう。



## 6 ふるさとへの誇り

西宮の子供たちへ 西宮や日本の自然や伝統文化に親しみ、ふるさとへの誇りを持ちましょう。

西宮の大人たちへ 地域や日本の四季や伝統文化を感じられる機会をつくりましょう。

人の価値観は、育った環境によって醸成されます。自分のふるさとに誇りを持つことは、異なる価値観を理解し、他者のふるさとに敬意を持つことにもつながります。

今住んでいる西宮や日本の自然環境、伝統文化、地域行事などに親しむ機会を積極的につくり、子供と共に「ふるさと」を大切にしていきましょう。

西宮が子供たちにとって、住み続けたい、いつか戻ってきたい、離れても想い続ける、そんな場所であることを願っています。



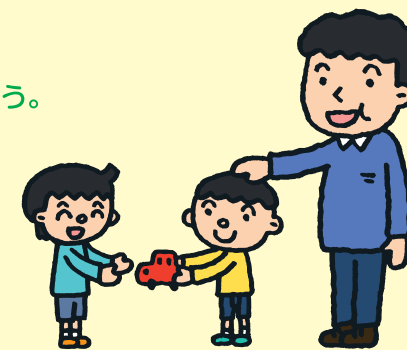
## 7 愛情と敬意と寛容

西宮の大人たちへ 子供たちに対して、愛情と敬意と寛容さを持ちましょう。

子供には、愛情をもって接することが大切です。愛情をもって生まれた子供は、他者や自分の子供に愛情を注ぐ人になるでしょう。

しかし、行き過ぎた愛情が過保護や過干渉につながると、健やかな成長を妨げてしまいます。子供は一人の自立した存在なのだという敬意をもって接することも大切です。

また子供は失敗や過ちから学ぶことでたくましく育っていきます。子供の失敗や過ちを否定することなく、寛容さをもって接しましょう。



## 「市長へのホットライン」創設

「せっかくよいアイデアがあるけど。」  
「これは直接トップの耳に入れたい。」  
こんな声に応えるのが、「市長へのホットライン」です。  
新しい西宮市では、市長が寄せられたご意見や提案に目を通し、  
必要な対応、検討を行います。直接つながることで、  
多様な声に耳を傾けることができます。



## 情報「フルオープン」構想

原則全ての行政情報を公開し、IT等の活用で  
「見える化」を徹底します。「見える行政」によって、  
市役所への信頼度向上につながります。

## 「市民提案型予算枠」の導入



新しい西宮市では、一般の市民からも新たな取組の  
提案を募ります。「市民提案型予算枠」を設け、  
市長や議員、市職員だけでは思いつかない  
アイデアで新しい事業を進めます。

## 「いっしょにしましょ課(仮称)」の創設

新しい西宮市では、市民の困りごと、特に市役所内の  
組織を横断する課題を「ワンストップ」で受けとめます。  
お隣の芦屋市には「お困りです課」が  
ありますが、新しい西宮市では、  
市民参画を見据えた窓口 にしたいと考えています。

## 若い声を市政へ! 「未来人材枠」の創設

新しい西宮市では、若い声を積極的に市政に反映する  
仕組みをつくりまします。各種審議会等に、10代、20代の  
「未来人材枠」を設けるとともに、  
インターネットを活用した取り組みで市民の声を集めます。

## 「市民参加型行政レビュー」の実施

西宮市で行われている事業に対して、その効果検証を  
公開の場で行います。市民にも検証に参加してもらいます。  
行政側のコスト意識が徹底されるとともに、  
市民参加の推進につながると考えます。

特集  
1

# みんなと 動かす



## 情報フルオープン、 市民提案型まちづくり、 アクティブな市長!

新しい西宮市は、「OPEN!」を合言葉に、  
市政と市民をつなぐ「仕組み」を変え、  
市民の声をベースにした  
まちづくりを行います。

## 市長が率先垂範「市長給与削減」

市のトップである市長がまず範を示して市政を  
けん引します。現在、阪神間で断トツのトップである  
市長給与をそのまま受け取ることはあり得ません。

※参考 2017年12月の阪神間の各市長の期末手当額  
西宮市 336万円、尼崎市 224万円、芦屋市 266万円  
伊丹市 256万円、宝塚市 212万円、川西市 194万円

## Free Wi-Fi まちづくり構想

将来的には、西宮市全域 Free Wi-Fi を  
目指したいと思います。まずは、主要な駅前や  
役所前などで Free Wi-Fi Spot をつくりまします。  
そして、その Free Wi-Fi を通じて、  
簡単なアンケートへの協力をお願いし、  
Net 世代の声を汲み取る仕組みをつくりまします。



## アクティブに現場に行く市長!

市長が市役所の先頭に立って、真っ先に現場に赴きます。  
市長が毎週、市内の学校・保育園・病院・介護施設等を  
訪ねる「ウィークリー現場訪問」や、市長が市民と  
直接対話する「マンスリー対話集会」を行います。  
市長となった後も街頭から「まちかど市政報告」を行います。

## 幹部職員への積極的な女性登用

西宮市の女性管理職割合は 11.6% と  
県平均 (14.6%) 以下。これを少なくとも県平均を  
上回るようにして、女性の目線を市政に活かし、生活者、  
消費者、お母さんにやさしい西宮市を目指します。

## 2月号 特集予定 みんなと 学ぶ



コミュニティ・スクール、就学前&  
生涯学習、図書館パワーアップ。  
子どもも大人も、みんなの学びを  
応援する西宮に。「文教住宅都市」  
の宣言にふさわしい、最良の教育  
都市を目指します!

## 3月号 特集予定 みんなと 暮らす



待機児童ゼロの実現、健康づくり支援、  
家族と一緒に医療・介護、災害に強く  
エコで安全な街。つながり、支え合う  
ことで、西宮はさらに住みやすくて  
まします。たくさんの笑顔を引き出す、まちと  
仕組みを作ります。

次号からもご期待ください!!



## 公立全校コミュニティ・スクール化

新しい西宮市では、全公立校を、地域と連携して学校運営を行う「コミュニティ・スクール」とすることを目指します。  
地域の関与を増やすとともに、  
現場に様々な権限を委譲し、学校現場の多様性や  
学校運営の機動性の向上を図ります。

## 小中、中高「公立一貫校」設置の検討

全国ではたくさんの地域で、公立の小中、中高一貫教育が行われています。教育のニーズが多様化する中で、  
行政が従来の「6・3・3制」にこだわる必要はありません。  
西宮でも一貫校の設置を目指し、質の高い公教育を提供します。

## 社会人経験者の教員養成支援

社会人経験のある、30代、40代の市民を中心とした、  
全国初の「社会人経験者の教員免許取得サポート制度」を  
創設します。教育現場に多様な人材を送り込むことと、  
一本道だけではないキャリアづくりの応援を目指します。

## 西宮「コミュニティ・カレッジ」構想

子育てを終えた女性、引退したシニアなどの復職・転職を  
応援する、社会人教育（リカレント教育）の機会を作ります。  
職に繋がるビジネスのスキル（例えば、社会福祉士などの  
資格取得や、IT系など）を、地域の大学と連携して  
学べる場の提供を目指します。

## 公立学校トイレの洋式化 推進加速

西宮市の公立学校のトイレ洋式化率は、近隣自治体で最低です。  
（西宮38%、尼崎52%、神戸45%、芦屋66%、  
伊丹80%、宝塚56%、県全体46% 2016年文部科学省資料）  
また、災害時には避難所となる可能性がある公立学校のトイレは、  
高齢化時代も勘案すると洋式化の推進は必要です。

## 図書館パワーアップ計画

図書館の改善は、まちづくりアンケートでも  
高い関心のある項目です。本を借りやすくするために、  
駅前に貸し出しと返却に特化したカウンターをつくることや、  
中央図書館など既存図書館を拡充するための施策を進めます。

特集

2

# みんなと 学ぶ



### コミュニティ・スクール、 就学前&生涯学習、 図書館パワーアップ!

こどもも大人も、みんなの学びを  
応援する西宮に。「文教住宅都市」の  
宣言にふさわしい、最良の  
教育都市を目指します!

## 全学校区へ「子ども食堂」創設支援

すべての学校区に、子ども食堂を設置します。  
子ども食堂は、共働き家庭の子どもなど、幅広い子どもの  
居場所とします。地域のボランティアや大学生が集い、  
子どもたちが教師や親以外の大人と  
触れ合う場となればよいと思います。

## 質の高い幼児教育の実現

待機児童ゼロを目指すとともに、  
教育効果が高い幼稚園・保育園・こども園での幼児教育を  
充実させていくように、市として取り組みます。

## 「環境学習都市」潜在力アップ

西宮市の誇りでもある豊かな自然を、  
学びの場として活かしながら、より美しい海や川、  
多様な自然環境へとしていくための取組を積極的に進めます。

## スポーツ環境の充実

まずは学校の校庭や既存の施設の運用見直しから着手し  
スポーツ施設の新設も検討したいと思います。  
また、グラウンドの芝生化にも着手し、思いっきり転べる環境で  
子どもたちが走り回れる西宮市にしたいと思います。

「みんなと学ぶ」で掲げた政策を通じて、子どもも大人も、学び  
を徹底的に応援する西宮市となります!さらに、国内外の姉妹・  
友好都市との交流をもっと深めてグローバル化を実感できる  
機会を市が提供することや、郷土の歴史や文化、震災の教訓  
などをしっかり受け継ぐ教育にも力を入れて行きます!

3月号 特集予定  
みんなと  
暮らす



待機児童ゼロの実現、健康づくり支援、  
家族と一緒に医療・介護、災害に強く  
エコで安全な街。つながり、支え合う  
ことで、西宮はさらに住みやすくて  
ます。たくさんの笑顔を引き出すまちと  
仕組みを作ります。

バックナンバー1月号  
みんなと  
動かす



1月号の特集は「みんなと動かす」。  
身近な市役所としていくための  
政策です。内容はホームページを  
ご覧いただくか、事務所までご連  
絡いただければ、リーフレットを  
お届けいたします!

次号もご期待ください!!

## 地球環境を積極的に守るまちへ

新しい西宮市では、積極的に地球環境問題に向き合います。  
役所での省エネやグリーン化事業の推進、  
そしてグリーンボンド債の活用や  
省エネコンテストなど市民を巻き込んだ政策を通じて  
トップレベルの環境都市を目指します。

## 「家族と一緒に」の、医療・介護

新しい西宮市では、窓口には社会福祉士などの専門家を配置するなど  
体制を拡充し、医療・介護に向き合うご本人や  
家族に寄り添える役所を目指します。  
また、最先端のIT(情報通信技術)も積極的に活用し、  
家族や医療従事者の負担軽減を図ります。

## 産前産後ケアの拡充

新しい西宮市では、母体保護を目的とした、  
産前産後ケアの拡充を図ります。また、他市で進む  
保健師や助産師による新生児訪問事業を参考として、  
子どもを産み育てる女性に寄り添う西宮市を目指します。

## ニーズに沿った子育て支援、待機児童ゼロ

待機児童対策は待ったなしの課題。他市の取り組みも参考に、  
あらゆる方策を講じます。また、移動児童館の拡充や、  
乳幼児医療費助成の所得制限を見直すなど、  
子育てをしっかり支えます。

## 「どうぞベンチ」プロジェクト

市内のちょっとした空間に、一休みできる「どうぞベンチ」の  
設置を進めます。お散歩中やお出かけ中に一休みする時、  
また急な体調悪化にも「どうぞベンチ」があれば安心。  
企業や個人の協賛も募るシステムも採り入れます。

## 公共交通の改善で移動しやすいまちへ

バス路線の拡充など、公共交通の要望は  
まちづくりアンケートでも多くの声が集まりました。  
コミュニティバスなど、各地でひろがる新しい取り組みを積極的に  
取り入れるとともに、自動運転の実験も検討します。

特集  
3

# みんなと暮らす



未来に希望いっぱいの、  
住みよい自慢の西宮にします！

つながり、支え合うことで、  
西宮はさらに住みやすくなります。  
もっとたくさんの笑顔を引き出す  
まちと仕組みをつくりまします。



## 高齢者のいきいき支援「健康づくり」「ボランティア」

新しい西宮市では、シニアがいいきき過ごすための仕組みを  
積極的に取り入れます。好評の「いきいき体操」に加え、  
公園への健康遊具の設置や健康づくりポイント制度の導入、  
ボランティアマッチングの拡充などを進めます。

## 自転車や歩行者が安全なまち

まちづくりアンケートで関心が高かったのが自転車の  
安全走行対策。ルール徹底とともに、自転車レーンの導入、  
スマホながら運転対策なども講じ、  
歩行者も自転車も安心できる街づくりを進めます。

## 地域雇用の創出、産業政策の推進

西宮は住宅都市と言われますが、仕事があつての生活です。  
地元に根を張り、雇用を産みだしてきた事業者の方々を支えます。  
食や学び、ITなど西宮らしい起業支援を進めます。

## ソフトパワー拡充による防災強化

高い防潮堤などのハード整備や、自衛隊・消防などの  
備えも大切ですが、いざという時に最も頼りになるのは、  
身近な人です。地域の人材が防災プロフェッショナルとして  
活躍してもらえる体制を築きます。

「みんなと暮らす」で掲げた政策を通じて、すべての市民が、  
希望いっぱいの自慢の西宮市と思えるようなまちにしてゆき  
ます。また、長年の地域懸案である阪急武庫川新駅や国道  
176号整備等の課題にスピード感を持って取り組み、市民が  
進化、を感じられる西宮市にします！

特集  
1  
バックナンバー1月号  
みんなと動かす



「みんなと動かす」は、市長へのホット  
ライン創設など、身近な市役所と  
していくための政策です！

特集  
2  
バックナンバー2月号  
みんなと学ぶ



「みんなと学ぶ」は、子どもはもちろ  
ん大人の学びも応援し、より進化した  
文教都市とするための政策です！

バックナンバーの内容はホームページをご覧ください。か、  
事務所までご連絡いただければ、リーフレットをお届けいたします！

# 新しい、開かれた西宮市をつくる、 「OPEN! 西宮」重点3政策

西宮市で選ばれた政治家が、ここ数年、日本中を騒がせました。

それも、政策論争とは関係のないところで。西宮に住む住民として、とても悔しい、情けない。政治の役割は、人を失望させることではありません。困った人に手を差し伸べ、頑張る人を応援する。みんなの税金を使って、会社や個人が出来ない役割を果たすのが、役所の仕事です。そんな大切な政治を、西宮の政治を、本気で復活させたい。

すべてをかける。西宮から、政治を復活させるために。

新しい、開かれた西宮市へ。OPEN! 西宮。

石井としろう

## 政策1

### 市長退職金廃止から始まる、 市役所改革

たった4年で  
2800万円は非常識!

市長退職金廃止を皮切りに、徹底した情報公開と  
市民参加の仕組みを作り、市民に開かれた市役所へ変えます!



#### 仕組みを変えて、OPENな市役所へ

- 「市長へのホットライン」の創設
- 情報「フルオープン」構想
- 「市民提案型予算枠」の導入
- 「いっしょにしましょ課(仮称)」の創設
- 若い声を市政へ! 「未来人材枠」の創設
- 「市民参加型行政レビュー」の実施
- Free Wi-Fi まちづくり構想
- 市長が率先垂範「市長給与削減」
- 市役所で一番アクティブなのは「市長!」
- 幹部職員への積極的な女性登用

## 政策2

### 待機児童ゼロ、 子ども子育て応援宣言

社会全体で  
次の世代を支えよう!

徹底した待機児童対策を進めるなど、子育て世代を  
全力応援! 地域と一体の教育で未来の西宮をつくります!



#### 子どもも大人も、学びを徹底的に支えます

- 公立全校コミュニティ・スクール化
- 社会人経験者の教員養成支援
- 小中、中高「公立一貫校」設置の検討
- 全学校区へ「子ども食堂」創設支援
- 公立学校トイレの洋式化加速
- 図書館パワーアップ計画
- 西宮「コミュニティ・カレッジ」構想
- 質の高い幼児教育の実現
- スポーツ環境の充実
- 「環境学習都市」潜在力アップ
- 都市間交流の促進
- 郷土の歴史、災害の教訓を受け継ぐ教育
- ニーズに沿った子育て支援、待機児童ゼロ

## 政策3

### シニアもみんなも生き生きする やさしいまちへ

愛情とアイデアで  
まちはもっとよくなる!

バス網の拡充など公共交通の利便性の向上、高齢者向け防災  
マニュアルの策定など、快適で安心な西宮市をつくります!



#### 未来に希望いっぱいの、住みよい自慢の西宮にします

- 地域雇用の創出、産業政策の推進
- 自転車や歩行者が安全なまち
- ソフトパワー拡充による防災強化
- 地球環境を積極的に守るまちへ
- 「どうぞベンチ」プロジェクト
- 公共交通の改善で移動しやすいまちへ
- 「シェアサイクル」の導入
- 高齢者の生き生き支援「健康づくり」「ボランティア」
- 「家族と一緒に」の、医療・介護
- 産前産後ケアの拡充
- 人と動物が共生できるまちへ
- 受動喫煙防止対策を強化
- 地域課題にスピード感を持って対応  
(阪急武庫川新駅や国道176号整備など)

49万市民のパワーを結集した「オール西宮」で、2018年の春、西宮市をリフレッシュしましょう!